

平成31年1月23日

（あて先）白山市議会議長

議員氏名 安実 隆直

印

平成30年度政務活動費収支報告について

白山市議会政務活動費の交付等に関する条例第6条の規定により、次のとおり収支報告します。

1 収入

政務活動費 540,000 円

2 支出

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	236,500円	研修会費
広 報 費	17,040円	ホームページ管理委託料 郵送料
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費	6,000円	白山市ロシア協会等年会費
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	128,146円	書籍購入費、新聞購入費
人 件 費		
事 務 所 費		
会 派 共 用 費		
そ の 他 の 経 費	33,426円	自動車燃料代、事務用品 タブレット通信費
合 計	421,112円	

3 残額

118,888 円



政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	安実 隆直	平成30年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	平成30年5月10日～11日	43,090円	東京
2	平成30年7月17日	53,800円	東京
3	平成30年11月1日～2日	49,290円	東京
4	平成30年11月20日～21日	90,320円	福岡
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
合 計		236,500円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	平成30年5月10日(木) ～ 平成30年5月11日(金)
使途内容	第10回日本自治創造学会研究大会参加(会場: 明治大学) 研修経費 43,090円 ・ 研究大会参加費 15,000円 ・ 宿泊代 12,100円 ・ 飛行機代 11,990円 ・ 電車代 650円 ・ 食事代(2回分) 2,350円 ・ 小松空港駐車料金(2日分) 1,000円 行きの旅費は、5月9日、10日開催の市町村議会議員特別セミナー(千葉市)に議員派遣されたため公費で支給 ※参加議員で按分した領収書原本は、村本議員に添付 参加議員11名: 西川議員、藤田議員、村本議員、小川議員、石地議員、南議員、吉本議員、安実議員、大屋議員、中野議員、池元議員
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直

印

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	平成 30 年 5 月 10 日 (木) ～ 平成 30 年 5 月 11 日 (金)
場 所	東京都：明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
相 手 方	財団法人 日本自治創造学会
参加議員氏名	西川寿夫、藤田政樹、村本一則、小川義昭、石地宜一、南清人 吉本史宏、安実隆直、大屋潤一、中野進、池元勝
目的・内容・ 成果等	(目 的) 第10回日本自治創造学会研究大会への参加 人生100年時代の地域デザインを学ぶ
	(内 容) 人口減少社会に向き合う地域社会について、人生100年時代の人作り革命・政府の取り組み、空き家対策と活用策、人口減と対峙する地方議会などの講演 若者たちの挑戦、人口減少社会の地域デザインについて各地で活躍している若者のパネルディスカッション
	(成果等) 圧倒的に不足しているIT・データ人材を中心に、新しいスキルやコンピテンシーを装備するための人材育成・教育エコシステムを国を挙げて構築する必要性を感じた。 市民から選ばれた議員、議会が民意を反映できるよう議会と執行部の二元代表制のもと時には対峙することも必要。議長の権限を強化し、議会改革が市民に理解されるよう議会全体が活動する取り組みを行うこと。住民の代表機関である自覚を持つ事などが理解できた。 地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインをする必要性、まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどの手法について学び参考となるものであった。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	2
実施年月日	平成30年7月17日(火)
使途内容	地方議会議員セミナーin東京(アットビジネスセンター池袋駅前別館) 研修経費 53,800円 ・セミナー受講料 25,000円 ・JR電車代 27,820円 ・食事代(1回分) 980円 参加議員2名: 村本議員、安実議員
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直

印

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	平成 30 年 7 月 17 日 (火)
場 所	東京都：アットビジネスセンター池袋駅前別館
相 手 方	株式会社 地方議会総合研究所
参加議員氏名	安実隆直、村本一則
目的・内容・成果等	(目 的) 地方議会議員セミナーin東京への参加 地方創生と地方議会の在り方を学ぶ (内 容) ・「憲法改正」のあり方と地方主権 ・地方分権改革後、変わった議会の立ち位置 ・二元代表制のもとでの議会の役割 ・地方議員をめぐる諸問題～首長との関係でみた場合 ・地方議会の改革と議会基本条例の論点 ・地方議会の改革～量も質も改革する ・大きな転換点に立つ日本 ・持続可能な自治体経営への視角 ・人口減少の意味するもの、地域への影響 ・地方創生の進め方について ・高度なサービス拠点・地方都市の衰退危機 ・人口減少時代の地域政策のあり方 ・連携中枢都市圏の形成を進める意義 (成果等) 日本国憲法92条で「地方自治の本旨」として、住民自治と団体自治の2つの要素を指している。住民自治とは、地方自治は住民の意思によって行われるべきだという理念。団体自治とは、地方自治は団体の意思と責任の下で行われるべきだということで、中央の手下ではなく独立した存在であり、決定者、監視者、提案者、集約者の4つの関係で議会の立ち位置を築く必要がある。 二元代表制での議会役割として、政策とは何か-問題解決である。政策過程とは何か-①課題設定②方法・立案③決定④実行⑤評価をPDCAサイクルで行政と政治で行う。集権と分権、分離と融合の政策形成の3つのステップとして、あるべき姿を現状分析し、問題に対しての手段を講ずることが重要。 連携中枢都市圏を形成。近隣の市町が連携し圏域全体の経済成長の牽引力を高め都市機能の集積させ、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を目指す。県と市との連携。二重行政の効率化等について知識を深めた。金沢市を核とした連携中枢都市圏の形成に大いに参考となった。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	3
実施年月日	平成30年11月1日(木) ～ 平成30年11月2日(金)
使途内容	地方議員研究会研修会参加 (TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター) 一般社団法人エコロジカル・デモクラシー財団 (東京工業大学) 研修経費 49,290円 ・ 研修会受講代 10,000円 ・ 新幹線宿泊代 33,450円 ・ 駐車場代 1,400円 ・ 食事代 (3回分) 3,280円 ・ 電車代 1,160円 参加議員 3 名 : 安実議員、中野議員、池元議員
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直 (印)

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	平成 30 年 11 月 1 日 (木) ～ 平成 30 年 11 月 2 日 (金)
場 所	東京都：TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター 東京工業大学環境・社会理工学院
相 手 方	地方議員研究会、財団法人エコロジカル・デモクラシー財団
参加議員氏名	安実隆直、中野進、池元勝
目的・内容・ 成果等	(目 的) ① 地方議員研究会研修会のセミナー受講 ② エコロジカル・デモクラシー財団のビジョン、目的、事業の講義とディスカッション
	(内 容) ① あなたの知らない議会のチカラ、私がうなった質問はこれだ!!の2講座を受講 ② 自然と社会のつながり、人と人と自然が支えるエコロジカル・デモクラシーという新しい思想、価値、世界を実現することを学術的に捉え、自然を直すことが、社会を直すことを意識的に連動させる取り組み。
	(成果等) ① 議員の力とは、評価する力、財政を見通す力、市民の声から政策課題を引き出す力、制度を知り制度の限界を知る力、人の力を借りる力である。議会が政策のマネジメントサイクルを独自に回し政策を実現する。二代表制の本来の在り方を目指して、議員には権限はないが、議会には市民の代表機関としての権限がある。議会が機関としての政策的意思を持つ、議会が政策をリードし、政策執行の結果には責任を持つことなど更なる議会改革の必要性を認識した。 質問には3つのタイプがある。自己主張型、課題・責任迫及型、政策提案型。政策提案型質問の構造として、現状認識、課題認識、仮設、検証、提案、期待される効果と執行部と一緒に政策・施策を作っていくイメージ。それが政策立案プロセスである。
	② 自然保護、生態系保全の活動は活発になり（エコロジー）、多様な社会を創ろうとする試みも深化している（デモクラシー）。人間社会、都市を生態系の中に位置づけ直し、人々の社会への参加と貢献、多様性を希求する運動を、その土地固有の自然・生態系へと意識的に結び付けることで、自然と社会の問題を一体として解決する方法を考案する。白山市は、自然が豊かで、伝統文化も継承されている。本市の自然や文化（社会）を市民が再認識することで、都市との交流を促進し、山ろくや農村地域の存続、一次製品の生産販売拡大に繋がることが期待できると思った。また、SDGsの目標に通ずるものであると実感した。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	4
実施年月日	平成30年11月20日(火) ～ 平成30年11月21日(水)
使途内容	地方議員研究会研修会セミナーの参加(リファレンス駅東ビル) 北九州エコタウン事業の研修(北九州エコタウンセンター) 研修経費 90,320円 ・研修会受講代 15,000円 ・飛行機、宿泊、貸切バス代 69,500円 ・地下鉄、食事代(3回分)、資料代 4,820円 ・駐車場代 1,000円 ※参加議員で按分した領収書原本は、村本議員に添付 参加議員11名：西川議員、藤田議員、村本議員、小川議員、石地議員、南議員、吉本議員、安実議員、大屋議員、中野議員、池元議員
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直 (印)

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	平成 30 年 11 月 20 日 (火) ～ 平成 30 年 11 月 21 日 (水)
場 所	福岡県：リファレンス駅東ビル、北九州エコタウンセンター
相 手 方	地方議員研究会、北九州市環境局環境未来都市推進部
参加議員氏名	西川寿夫、藤田政樹、村本一則、小川義昭、石地宜一、南清人 吉本史宏、安実隆直、大屋潤一、中野進、池元勝
目的・内容・ 成果等	(目 的) ① 地方議員研究会研修会のセミナー受講 ② 北九州エコタウン事業の研修
	(内 容) ① 持続可能な開発目標 (SDG s) とまちづくり ・ SDG s とは何か ・ 国の施策 ・ 自治体先進事例 ・ SDG s に関する質問例 ② 北九州市の環境問題への積極的な取り組み、エコタウン事業、エコタウン事業のこれまでの成果
	(成果等) ① MDG s の後継的な位置づけで、持続的な開発の文脈と融合し、国連加盟 193 か国による 2016 年～2030 年の 15 年間の行動計画を 17 の大目標と具体的な 169 のターゲットから構成させるもの。自治体が SDG s に取り組むには、総合計画への位置付け、首長のリーダーシップ、マルチステークホルダー (企業等) との連携をした施策を展開する必要がある。白山市は SDG s 未来都市に選定されており、今後の取り組みに大いに参考となった。 ② 北九州工業地帯は、四大工業地帯の一つとして日本の高度成長を支えてきたが、一方で深刻な産業公害ををもたらした。この公害問題に対して、市民・企業・自治体が一体となって取り組んだ。エコタウン事業は、すべての廃棄物を新たに他の分野の原料を活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることを目指し、先進的な環境調和型のまちづくり推進している。白山市においてもリサイクル、リユースを推進するうえで見識を深めることができた。

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	安実 隆直	平成30年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	平成30年4月～平成30年12月	14,580円	H P
2	平成30年9月6日	2,460円	郵送料
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
合 計		17,040円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	平成30年4月1日 ～ 平成30年12月25日
使途内容	ホームページ管理委託料 14,580円 ・ドメイン、サーバーの維持管理 ・メンテナンス費用 (内訳) 月額 3,000円 (税別) 4月～9月 19,440円 10月～12月 9,720円 ※領収書は10月～翌年3月 19,440円 合 計 29,160円 × 1/2 = 14,580円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 (ホームページ管理委託料 29,160円) 支出額 按分率 政務活動費相当額 29,160円 × (1/2) = 14,580円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直

印

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☒ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 12 月 25 日
場 所	
相 手 方	有限会社エイチ・アイ・ティーシステム
参加議員氏名	
目的・内容・成果等	(目 的) ホームページにより政治理念を示し、市議会活動報告などで市民の皆さまの理解を深めるため開設している。 ホームページの維持管理、メンテナンスを図るため政務活動費を支出する。
	(内 容) 政治理念の記載、活動報告、スケジュールや市議会開催のお知らせを行う。 適宜情報によりホームページを随時更新している。
	(成果等) 不特定多数の市民の皆さまに閲覧頂き理解を得ている。 一般質問の議会傍聴の案内をHPでしており、議会傍聴をした又は、CATVの視聴、議会HP議会録画映像を見たとの市民からの報告が多数ある。 議会日程が周知され議員活動に生かされた。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	2
実施年月日	平成 3 0 年 9 月 6 日 (木)
使途内容	郵送料 2,460円 第一種定型 82円×30通 (一般質問案内)
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直

⑨

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☒ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	平成 30 年 9 月 6 日
場 所	
相 手 方	
参加議員氏名	
目的・内容・ 成果等	(目 的) 白山市議会 9 月会議一般質問の案内通知
	(内 容) 一般質問の質問内容及び日時をお知らせする。
	(成果等) 議会傍聴に来ていただいている。 市民から一般質問の内容などの問い合わせがある。

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	安実 隆直	平成30年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☒ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	平成30年4月17日, 6月4日, 8月28日	6,000円	協会年会費
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
合 計		6,000円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☒ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	平成30年4月17日、6月4日、8月28日
使途内容	協会年会費 6,000円 (内訳) ・ 石川インド協会 年会費 2,000円 ・ 白山市国際交流協会 年会費 1,000円 ・ 白山市ロシア協会 年会費 3,000円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 安実 隆直 ㊞

支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☒ 会議費
日 程	平成 30 年度
場 所	
相 手 方	①白山市ロシア協会 ②石川インド協会 ③白山市国際交流協会
参加議員氏名	
目的・内容・ 成果等	(目 的) ①市民レベルでのロシアとの交流を促進し、相互理解と友情を深め、世界の平和に寄与すること。 ②石川県とインド国民の文化、道徳及び歴史の相互理解を深め、友好関係を促進すること。 ③白山市と国内外の都市との親善友好を基調として、教育、文化及び産業の交流を図り、市民間の相互理解、世界平和に貢献すること。
	(内 容) ①白山市とロシア間の学術、文化、経済の交流ならびに友好親善に関する事業及びロシアの事情調査、研究と紹介に関する事業を行う。 ②文化交流、経済ビジネス交流、インド文化、道徳及び歴史の勉強会、石川県や白山市の文化、道徳及び歴史の情報発信等の事業を行う。 ③外国人市民のための日本語教室・日本人市民のための国際理解教室・語学教室・国際交流ボランティアグループのサークル活動の場など多文化共生に取り組んでいる。
	(成果等) ①ロシアの学術、文化、経済を学ぶことにより白山市との友好親善に関する調査、研究をすることができた。 ②発展するインド国との情報交換をすることによって、白山市との産業、経済の交流に結び付くような取り組みができないか調査、研究することができた。 ③白山市に在住する外国人との交流を通して多文化共生の市民理解を求める活動をすることができた。

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	安実 隆直	平成 3 0 年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	平成 3 0 年 4 月～平成 3 0 年 1 2 月	58,105円	書籍
2	平成 3 0 年 4 月～平成 3 0 年 1 2 月	70,041円	新聞
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
合 計		128,146円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	平成30年4月～12月
使途内容	書籍購入費 58,105円 (内訳) ・日本の学童はいく誌(4月号～12月号) 3,060円 ※領収書は12ヶ月分 ・デジタル書府太郎 28,000円 8月23日振込 ・石川県総合人事録DVD18-19 20,520円 11月30日支払 ・月間北國アクトス(4月号～12月号) 6,525円 ※領収書は12ヶ月分
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円
	【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	2
実施年月日	平成30年4月 ～ 平成30年12月
使途内容	新聞購入費 70,041円 (内訳) ・北陸中日新聞(4月～12月分) 24,651円 ※領収書は1年分 32,868- ・日本農業新聞(4月～12月分) 20,907円 ・社会新報(4月～12月分) 7,500円 ※領収書は1年分 10,000- ・公明新聞(4月～12月分) 16,983円 ※領収書は1年分 22,644-
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	安実 隆直	平成30年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	平成30年4月～平成30年12月	22,413円	ガソリン
2	平成30年4月～平成30年12月	8,101円	タブレット
3	平成30年4月12日	2,912円	事務用品
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
合 計		33,426円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費																																													
整理番号 (項目別)	1																																													
実施年月日	平成30年4月 ～ 平成30年12月																																													
使途内容	ガソリン代 (4月～12月) 22,413円 ガソリン明細 <table> <tr><td>1</td><td>4月14日</td><td>5,405</td></tr> <tr><td>2</td><td>5月8日</td><td>5,694</td></tr> <tr><td>3</td><td>5月27日</td><td>6,197</td></tr> <tr><td>4</td><td>7月4日</td><td>5,457</td></tr> <tr><td>5</td><td>7月23日</td><td>6,363</td></tr> <tr><td>6</td><td>8月12日</td><td>5,624</td></tr> <tr><td>7</td><td>8月23日</td><td>6,369</td></tr> <tr><td>8</td><td>9月9日</td><td>5,879</td></tr> <tr><td>9</td><td>9月26日</td><td>6,167</td></tr> <tr><td>10</td><td>10月18日</td><td>6,693</td></tr> <tr><td>11</td><td>11月4日</td><td>6,189</td></tr> <tr><td>12</td><td>11月16日</td><td>5,885</td></tr> <tr><td>13</td><td>11月30日</td><td>6,290</td></tr> <tr><td>14</td><td>12月15日</td><td>5,791</td></tr> <tr><td>15</td><td>12月24日</td><td>5,650</td></tr> </table> <u>合計</u> 89,653 1/4 22,413.3	1	4月14日	5,405	2	5月8日	5,694	3	5月27日	6,197	4	7月4日	5,457	5	7月23日	6,363	6	8月12日	5,624	7	8月23日	6,369	8	9月9日	5,879	9	9月26日	6,167	10	10月18日	6,693	11	11月4日	6,189	12	11月16日	5,885	13	11月30日	6,290	14	12月15日	5,791	15	12月24日	5,650
1	4月14日	5,405																																												
2	5月8日	5,694																																												
3	5月27日	6,197																																												
4	7月4日	5,457																																												
5	7月23日	6,363																																												
6	8月12日	5,624																																												
7	8月23日	6,369																																												
8	9月9日	5,879																																												
9	9月26日	6,167																																												
10	10月18日	6,693																																												
11	11月4日	6,189																																												
12	11月16日	5,885																																												
13	11月30日	6,290																																												
14	12月15日	5,791																																												
15	12月24日	5,650																																												
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 (ガソリン代 89,653円) <table> <tr> <td>支出額</td> <td>按分率</td> <td>政務活動費相当額</td> </tr> <tr> <td>89,653 円</td> <td>× (1 / 4)</td> <td>= 22,413 円</td> </tr> </table> 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 円	支出額	按分率	政務活動費相当額	89,653 円	× (1 / 4)	= 22,413 円																																							
支出額	按分率	政務活動費相当額																																												
89,653 円	× (1 / 4)	= 22,413 円																																												

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費						
整理番号 (項目別)	2						
実施年月日	平成30年4月1日 ～ 平成30年12月25日						
使途内容	タブレット型端末機 8,101円 通信料 1,840円×9カ月25日（H30年4月1日～H30年12月25日）＝16,203円 ※ 領収書の原本は事務局に保管						
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】（タブレット代 16,203円） <table> <tr> <td>支出額</td> <td>按分率</td> <td>政務活動費相当額</td> </tr> <tr> <td>16,203 円</td> <td>× (1/2)</td> <td>= 8,101 円</td> </tr> </table> 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円	支出額	按分率	政務活動費相当額	16,203 円	× (1/2)	= 8,101 円
支出額	按分率	政務活動費相当額					
16,203 円	× (1/2)	= 8,101 円					

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費
整理番号 (項目別)	3
実施年月日	平成30年4月12日(木)
使途内容	事務用品 2,912円 (内訳) ・テープノリ 298円 ・仕切カード 396円 ・ファイル 1,760円 ・クリアブック 458円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円
	【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。